

# 柏の葉キャンパス

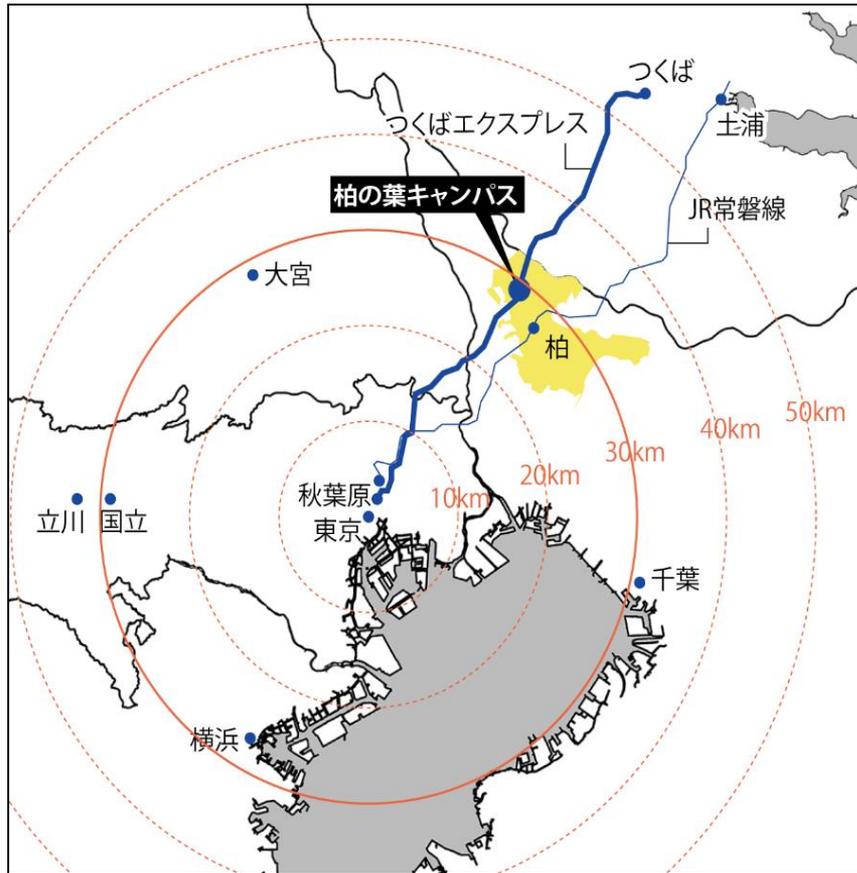
## 「公・民・学連携による自律した都市経営」



2017年10月4日

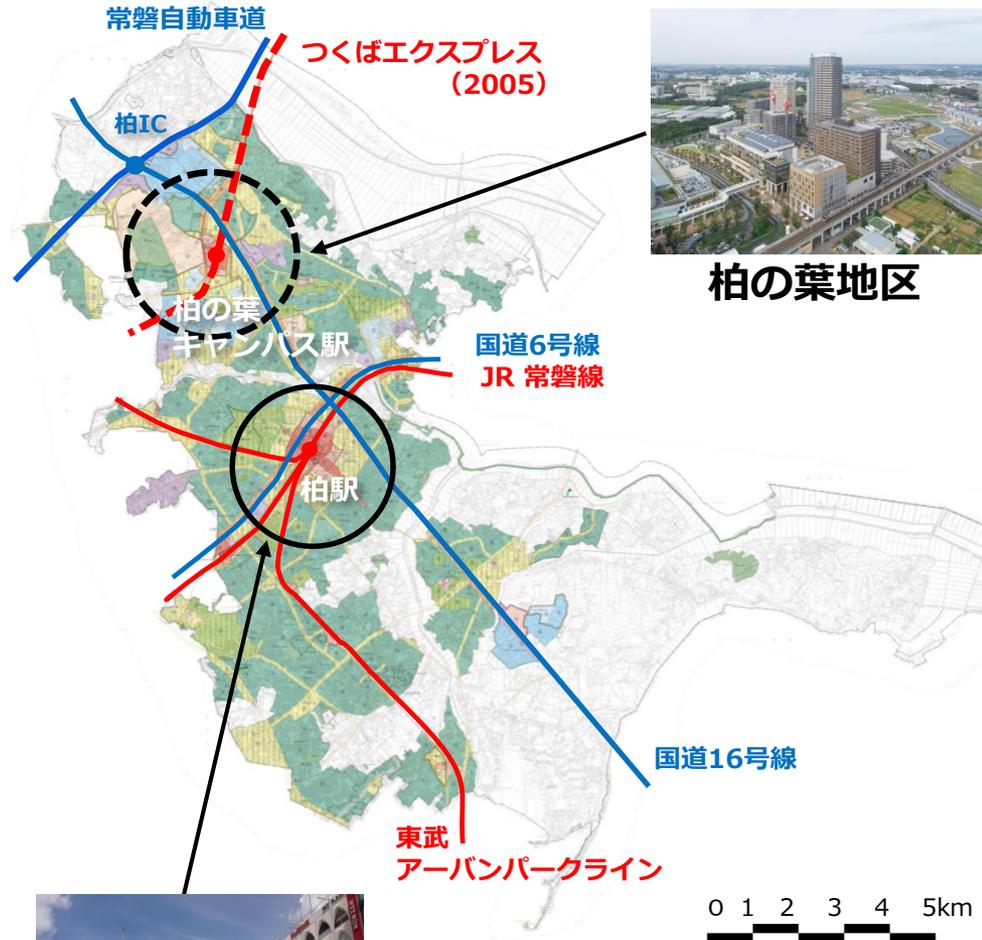
 柏市長 秋山 浩保

# 柏市の立地と概要



都心から **30 km圏内**

つくばエクスプレスで秋葉原から **27分**  
成田空港, 羽田空港から車で **約1時間**



柏中心市街地

柏市  
面積：約115km<sup>2</sup>  
人口：約42万人

# 柏の葉の概要

## 地域の立地機関



## 柏の葉キャンパス地区



約273ha 計画人口26,000人の  
土地区画整理事業エリア



## ゼロからのまちづくり

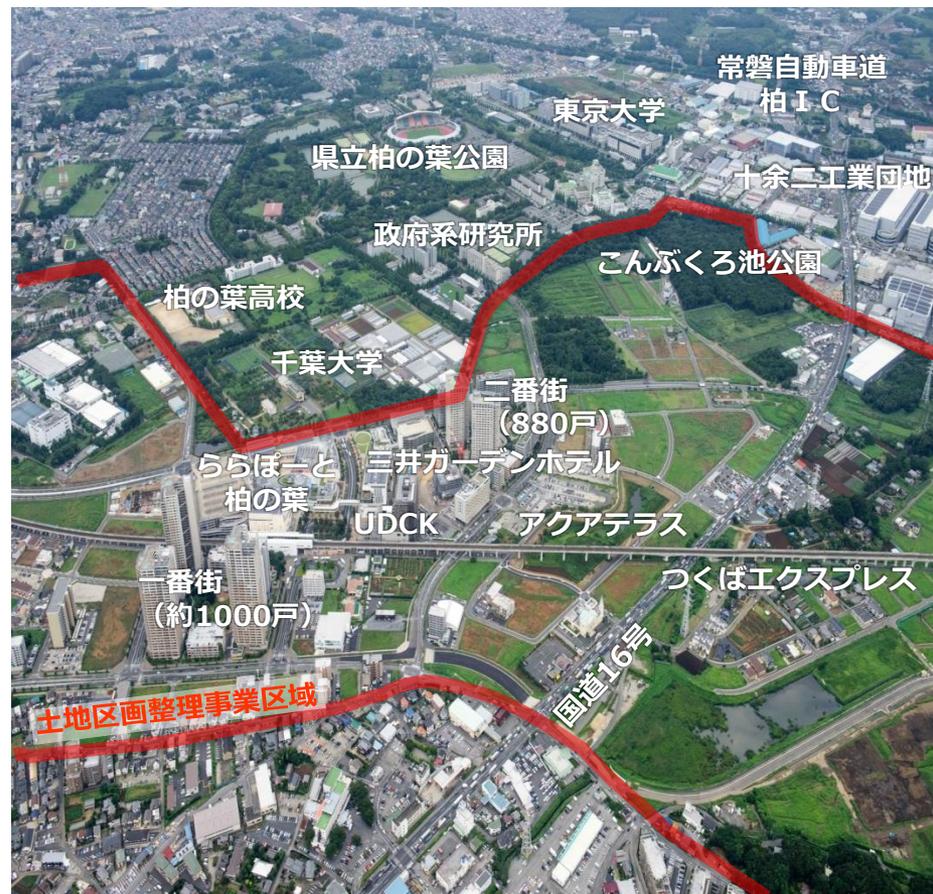
- 最先端の知や技術を街に実装
- 市民参加の社会実証で新たなライフスタイルを創出



# 柏の葉の変遷 ~ ゼロからのまちづくり ~

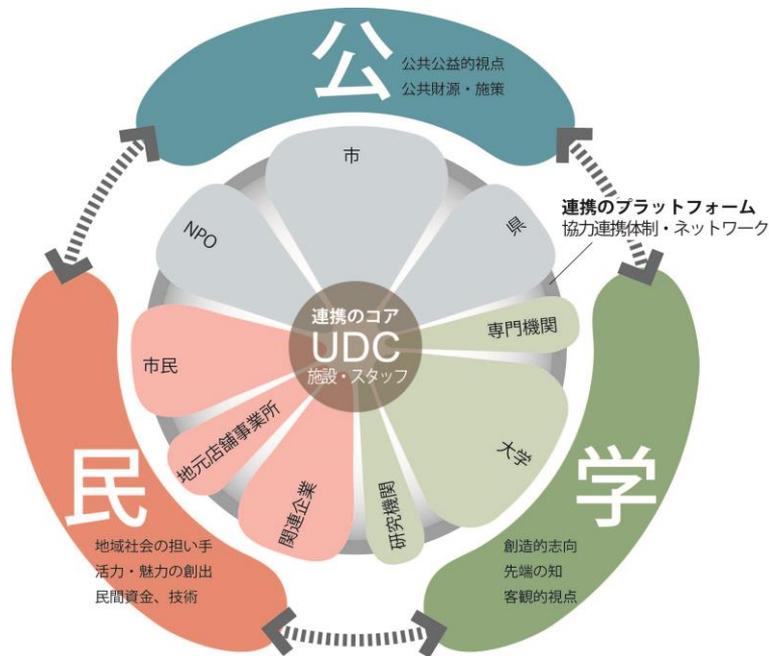
2004年（鉄道開通前）

2016年



この10年間で大きく「まちづくり」が進展

# 柏の葉のまちづくりスキーム



従来の主体 **公共**に加え、  
**民間**の推進力 **大学**の先端知  
を最大限に活かして、  
**社会的課題の解決モデル**となる  
**次世代型のまちづくり**を行う



そのために、行政中心型でない  
**新しいまちづくりの仕組みと組織**

## 公×民×学 連携

将来ビジョンの共有

推進機関の共同運営

柏の葉  
国際キャンパスタウン構想



UDCK  
柏の葉アーバンデザインセンター

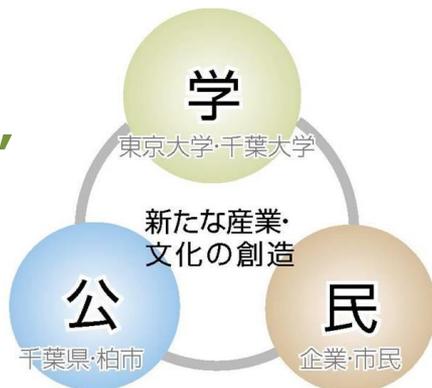
# 柏の葉のまちづくりコンセプト

## 柏の葉国際キャンパスタウン構想

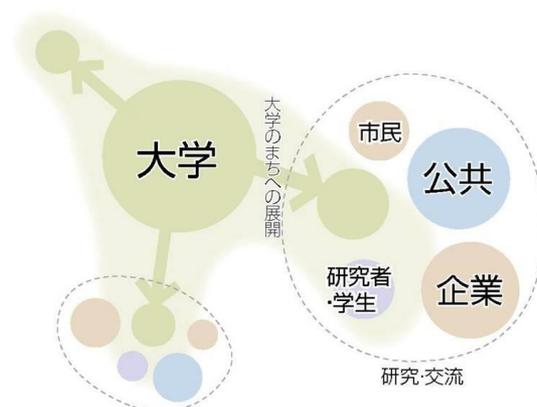
2008年、千葉県・柏市・東京大学・千葉大学の4者で策定、三井不動産・UR都市機構を加えた6者で推進

### 構想の理念

### “大学とまちの融和”



キャンパスから生まれる知と産業，文化



環境と健康，交流，創造のキャンパス

環境共生、新産業創造、国際学術、次世代交通、健康、アーバンデザイン等の8つの目標と27の方針、重点施策を提示



- 目標1 環境と共生する田園都市づくり
- 目標2 創造的な産業空間の醸成
- 目標3 国際的な学術・教育・文化空間の形成
- 目標4 サステイナブルな移動交通システム
- 目標5 健康を育む柏の葉スタイルの創出
- 目標6 公・民・学連携によるエリアマネジメントの実施
- 目標7 質の高い都市空間のデザイン
- 目標8 イノベーション・フィールド都市

# 公・民・学連携のまちづくり拠点

## UDCK (柏の葉アーバンデザインセンター)



### 構成団体

柏市

公

三井不動産  
首都圏新都市鉄道  
柏商工会議所  
田中地域ふるさと協議会

民

東京大学  
千葉大学

学

### 公・民・学持ち寄り型の共同運営体制

- 公・民・学の7つの構成団体で共同運営する任意組織として2006年11月に設立。
- 活動経費、運営資金、マンパワーを持ち寄る、ゆるやかな組織運営。
- 旧来の組織の枠組みに縛られない、フラットな議論の場。

### 専門家による主導

- まちづくりの専門家がプロジェクトをマネジメント。
- 多分野の専門性を持つスタッフが密に連携し、スピード感のある実践。

### 法人格の取得

- 2011年12月に一般社団法人格を取得。景観整備機構、都市再生推進法人に指定。

# 公・民・学連携で取り組む柏の葉のまちづくり

## 1. 高質な都市空間を創造する デザインマネジメントとエリアマネジメント



柏の葉キャンパス駅西口

柏の葉アクアテラス

至秋葉原

柏の葉キャンパス駅

至つくば

つくばエクスプレス

# 公・民・学連携で取り組む柏の葉のまちづくり

## 柏の葉キャンパス駅西口（駅前広場・道路）

都市再生特別措置法を活用した駅前公共空間の高質化整備

- ・ 自転車専用道の整備（歩行者と自転車の分離）
- ・ くつろげる空間整備（ウッドデッキ、ファニチャー、照明）
- ・ イベント活用を想定したインフラ整備（電源BOX、上・下水道）
- ・ 公共と民間を繋ぐ地元組織として、UDCKが歩道と植栽を管理



## 柏の葉アクアテラス（2号調整池）

池周辺街区の価値向上と土地利用の牽引、親水・交流のための水辺空間として、既設の雨水調整池を高質化整備

- ・ 池外周歩道の拡幅と植栽，ウッドデッキ，ベンチの整備，外周フェンスの高質化（ネットフェンス→手すり，カウンター）
- ・ 親水用ブリッジ，水上ステージの整備
- ・ 公共と民間を繋ぐ地元組織として，UDCKが施設を管理



# 公・民・学連携で取り組む柏の葉のまちづくり

## 2. 「環境未来都市」と「地域活性化総合特区」で推進するまちづくり



**社会的課題の解決モデルとなる次世代都市に向けて  
3つのテーマを軸にまちづくりを推進**

### 環境共生

人と地球にやさしく  
災害にも強いまち

### 健康長寿

すべての世代が健やかに  
安心して暮らせるまち

### 新産業創造

日本の新しい活力となる  
成長分野を育むまち

# 環境未来都の取組総括

## 環境共生 ～ 人と地球にやさしく災害にも強いまち ～

### エリアエネルギー管理システム (AEMS)

#### 地域全体で省エネ活動を促進

太陽光発電や蓄電池等の分散電源エネルギーの活用，街区間を跨ぐ電力融通により、**まち全体で電力使用量のピークカットを実現**

#### 停電しない安心なまちを実現

電力融通により駅周辺街区（12.7ha）において、**停電時でも約6割程度の電力供給を3日間維持**



# 環境未来都の取組総括

## 健康長寿 ～すべての世代が健やかに安心して暮らせるまち～



まちの健康研究所「あ・し・た」

### まちの健康研究所「あ・し・た」

#### 市民参加型の健康情報発信拠点を整備

健康な毎日をつくる推進拠点として、まちの健康研究所「あ・し・た」を整備し、**健康寿命の延伸と介護予防の啓発活動を展開**

#### 特区事業所による在宅医療の実施

#### 超高齢社会に向けた在宅医療の充実

地域活性化総合特区の規制緩和を活用し、医療法人以外による**訪問リハビリテーション等の在宅医療を展開**

## 新産業創造 ～日本の新しい活力となる成長産業を育むまち～



KOIL (柏の葉オープンイノベーションラボ)

### イノベーションオフィス「KOIL」

#### 他業種交流を促進し新産業を創造

企業家や研究者などが交流し、新事業や新サービスを創造するための場として「**KOIL (柏の葉オープンイノベーションラボ)**」を整備

#### ベンチャー企業の総合的支援を実施

エンジェル税制の規制緩和は実現できなかったものの、支援組織の「**TEP**」を中心に、柏市、商工会議所による総合的な企業育成を推進

## 多様な主体とのパートナーシップの構築



### 柏アーバンデザインセンター（2015～）

公・民・学連携によるまちづくりの全市展開として、柏市の中心市街地（柏駅周辺）におけるまちづくりのプラットフォームとなる柏アーバンデザインセンター（UDC2）を開設。

公：柏市，柏市まちづくり公社

民：地権者，柏商工会議所，事業者等

学：東京大学，麗澤大学，芝浦工業大学



### フレイル予防プロジェクト2025（2016～）

フレイルという新しい概念の下，更なる健康づくりと介護予防を推進するため，柏市が東京大学，医師会，歯科医師会，薬剤師会，地域団体等と組織横断的な推進体制を構築。

健康づくり・介護予防事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動の展開により，健康寿命の延伸を図り，快活で健康増進に取り組むまちづくりを推進。



# 環境未来都市の取組の展開と 持続可能なまちづくりの実現に向けて、 多様な主体とのパートナーシップを実現する

